

所沢市マスコット



トころん

豊かなみどり あふれる笑顔 みんなで明日をつくるまち所沢

第22号

環 境 会 報

所沢市環境推進員連絡協議会

発行責任者 会長 毛利 吉成

誰かがどこかで みんなできれいに！

所沢市環境推進員連絡協議会 会長 毛利 吉成

環境推進員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

今夏の日本列島は、各地で最高気温40度を超す国内観測史上稀にみる、暑い夏でした。さらに豪雨による土石流災害や洪水災害等も各地で起きるなど、自然の猛威に襲われた夏でもありました。

あの東北大震災から3年半になろうとしております。明るく希望をもち、懸命な姿を報道などで見るにつけ胸熱くなるものがございます。

昨年6月、市役所一階の市民ホールでエコ活動を啓発するパネル展示による「環境展示会」が開催されていました。そこに『あのときのことを忘れてはいけない』“ならば、わたしたち大人はどうするか？今こそ私たちの行動が求められています”と被災地の岩手県大槌町へ赴かれた時の感慨を込めた藤本市長の熱きメッセージがありました。平和なここ所沢にいる私の胸を打つ一言でした。

みんなが利用する集積所をみんなできれいにして利用しよう。ポイ捨てごみを無くそう。ゴミは持ち帰ろう。バッグを持って買い物に行こう。きちんと分別して集積所になど日常生活で排出される物全て

に、誰かがどこかで関わってくれています。この事への認識と理解に向けての地道な推進員皆様の啓発活動や実践活動、そして環境問題をとおしてのモラル構築へのご努力は、人と人との絆をつくる力となり大きな動きとなることと思っております。

春の環境美化の日に参加された市民は、過去最高の27,368人、今年は特に親子や小学生の参加が多数ありました。また、ゴミの集積量は、41,44トンで年々少なくなってきています。推進員皆様の地道な活動が、とりわけ自分の住む地域環境への意識や関心の高さが表れてのデータではないでしょうか。

当連絡協議会の後半の行事は、航空公園外周道路清掃（10月）、秋の環境美化の日一斉清掃（11月）、視察研修会（11月）、そして来年2月に予定しております環境講演会等がございます。さらなる推進員皆様のご協力をお願い申し上げます次第です。



平成25年度所沢市環境推進員連絡協議会総会

平成25年の総会は、5月30日 所沢市役所8階大会議室で開催。議事は、24年度の事業報告、決算報告そして、古着古布陶磁器回収事業や「歩きたばこ防止、「レジ袋削減等のキャンペーン」そし



て研修計画、環境講演会など地域の環境美化活動や環境保全の推進にむけて「とことん資源化」の推進を目的に、動こう環境！をキャッチフレーズにした25年度の事業計画と予算について承認されました。

東狭山ヶ丘自治連合会の美化活動と「歩きタバコ禁止」啓発活動

東狭山ヶ丘地区 田中 忠司

東狭山ヶ丘自治連合会には環境部会があり、そこでボランティアを中心とした東狭山ヶ丘美化協議会を形成しています。参加団体は、第7区長生クラブ・宮前小学校フラワーボランティア・東狭山ヶ丘自治連合会会員の一部・狭山ヶ丘中学校生徒の4団体です。この協議会では平成16年より駅前ロータリーの花植え・除草・周辺の清掃（ゴミ拾い含む）等、活動を続けています。活動の内容は、4月に前年度植えた花（枯花）除去・除草・周辺のゴミ拾い、5月と10月は、花苗を植え付けています。6月は、除草・ゴミ拾いを行い、7～8～9月も同様の活動を行っております。花が咲いたロータリーは、通勤者・買い物客・周辺の住民に喜ばれ、ゴミのポイ捨ても少なく、防犯・防災等にも貢献しております。

また、所沢市は、条例で全域にわたり「歩きタバコ」を禁止していますが、努力義務で過料はありません。市内各駅周辺の一部は、路上喫煙禁止地区を設けていますが、東狭山ヶ丘駅周辺も同様です。当自治会として地域活動の中で、全ての路上喫煙禁止を住民にアピールし、先駆的な役割を担っていきたいと推進しております。

今年、市(生活環境課)からいただいた、「歩きタバコ禁止」パネルを環境推進員と掲示したり、駅前の吸殻拾いや、「やめよう歩きタバコ、やめようポイ捨て」ののぼり旗を掲げながら、歩きタバコ禁止啓発ティッシュ・携帯灰皿の配布を行うなど、積極的に活動に取り組んでいます。こうした活動により、「歩きタバコ禁止」を多くの方々に知っていただくことと、更に、取り組んでいる人達がいることで、啓発されることを願っています。

東狭山ヶ丘自治連合会は、今後も活動を通して継続的に「歩きタバコ禁止」を訴えてまいります。



新所沢東地区環境推進員協議会活動状況報告

新所沢東地区 魚島 克巳

新所沢東地区は、新所沢駅の東側に位置する8町会、70名の環境推進員で構成されています。

今回は8町会のうちのひとつ、北所沢町会の活動状況を紹介させていただきます。

当町会には5大事業の一つに環境衛生に関する事業がありこれを担当する部門が環境部です。

環境部は部長・副部長等あわせて9名の環境推進員で構成され、平均年齢が75歳を超えた高齢集団ですが、いざ一丸となって活動する姿はまさに「壮年集団」です。

環境良化キャンペーン活動として現在実行していることは、

1.ポスターの貼付

町内の掲示板に常時（年2回デザインを変更）貼付し、ポイ捨てを止めるよう訴えています。

2.投棄ごみ回収活動

毎月、原則第1日曜日に町内の公園に集合し、9時から約1時間半に亘って町内全域を回り、タバコ・空き缶を始めとする投棄ごみの回収並びに雑草処理活動を行っております。

3.ごみ集積所コンテスト

回収をしてくださる方々へ感謝し、気持ちよく回収してもらえるようにと、町内40数か所の集積所をチェックし最高点になったところを掲示板で紹介します。

投棄ごみの回収活動は平成17年度よりスタートし、初めころは部員4～5名で、そのうち町会長等三役が参加して頂くようになり毎回10人を超え

るようになりました。数年前に1人の女性が入部するや、翌年にはさらに2人の女性が入部、なでしこトリオの誕生です。女性が参加することで、華やかさやおしゃべり、笑いの中での集団活動になり町行く人々へ大きくアピールしています。

町内で営業している大手メガネチェーンの店長も、本年4月より活動参加の申し入れがあり一緒に行動してもらっております。現在、部員（環境推進員）

9名全員とサポーターが常時9～10名が参加して頂けるようになりました。この度部員、サポーターのそれぞれの名刺を作り配布。機会あるごとに渡して頂き、ふるさと北所沢をアピールしてもらっています。

平成25年7月号

環境部 ゴミ集積所コンテスト

北所沢町の環境良化キャンペーンの一環として優良なごみ集積所を紹介させていただいております。

第2回目の審査は去る7月7日(日)に実施。環境部員とサポーターによる40有か所、5箇所について点数チェックの結果、前回は遊きグートボール場 石調駐車場にある身支度格闘の集積所が選ばれましたのでご報告します。

回収して下さる方々に感謝し、一層清潔で気持ちの良い集積所を目標として頑張りたいと思います。

北所沢町 環境部

山口地区の活動

山口地区 新居 亨一

山口地区環境推進員協議会は、87名の環境推進員で構成されています。背中に「動け！所沢とことん資源化」の文字、胸にはトコロンマークが入った真紅のスタジャンを着て、活動しています。

また、年4回、「山口環境だより」を発行。身近な環境情報を共有しています。以下に山口地区の活動の一部をご紹介します。

2年ほど前から山口オリジナルの「犬フン放置防止啓発パネル」(500枚)を作成、希望者に配布しています。好評につき、残り少なくなりました。

山口地区の「もったいない市」は、ふれあいの場。「もったいない」の意義を感じ、和やかな雰囲気です。毎回、延べ50人に及ぶ推進員が参加、心地よい汗を流します。



“ブティック山口” マネキンも、畳を使った衣装掛けも手作りです



畑で見かけた犬フン放置防止の啓発パネル

「行って見ようよ！」と、有志で東部クリーンセンターを見学しました。プラスチック分別の説明など、参考になる事が多く、さっそく地区総会での出張研修をお願いしました。



いろいろな発見があり、勉強になりました

東所沢をきれいな町に

東所沢地区 荒木 孟

東所沢駅は武蔵野線が開通してから今年で40周年を迎える。当初は貨物中心で乗客は少なかったが、東所沢区画整理事業により宅地開発が急速に進み、人口も大幅に増加し、町も発展をしてきた。しかしながら現状をみると、周りの駅と比べてきれいな町とはとても言える状況ではない。

現在、東所沢駅前には所沢市が週に3回、それ以外の日には環境推進員含むボランティアが清掃を行っているが、指定喫煙所周辺にはたばこ吸殻、飲料の缶・ペットボトル、プラ包装容器等のポイ捨てが見られ、清掃後昼間は良好であるが夕方から翌朝にかけてゴミを捨てる人がいる。そのため、今年、4月に市が「ゴミポイ捨て防止」看板を設置したが、その後も看板の前にゴミを捨てる人があり、一向に減少していない。特に、たばこ吸殻は南北の2つのロータリー及び駅前全般に落ちており、「歩きたばこ禁止」の標識の効果を疑わざるを得ない。しかしながら一方で、企業の方が自主的に清掃活動をされており、このような住民と企業の活動の輪を多くの人に広げていきたい。

先日実施した「歩きたばこ防止キャンペーン」で

は、この状況を理解してもらうため配布物を配る人数を大きく削減して、駅前道路、ロータリー歩道の植え込みの中まで清掃作業を実施し、多くのごみを回収した。

今後も、環境推進員の腕章を巻き清掃活動を続けながら、環境美化意識の向上を呼びかけていきたい。



今、求められる核の火の始末

環境コラム

柳瀬地区 丸山 千尋



夏の風物詩と言えば、やはり花火である。太陽が沈み、涼風が流れる中、川原や公園で挙行される仕掛け花火や打ち上げ花火、そして各家庭の庭先での線香花火など、花火は日本人の日常生活に欠かせない大きな楽しみとなっている。

実はこの花火、火薬を発明した中国からシルクロードをとおり、西欧へ伝わり、その後、遠い道のりを経て、鉄砲とともに日本にやってきた。当然、当時はどこの国でも鉄砲のいのちである火薬を独占管理したが、徳川幕府は平和の証（あかし）として、大切な火薬を庶民に解放してしまった。その結果、火薬職人と別に、花火職人が現れ、色々な花火を作り上げ、江戸八百八町で花火大会が流行し始めたという。これが徳川300年の平和を築きあげた。中でも享保18年（1733）、幕府自ら主催して、前年の大飢饉とはやり病で亡くなった多くの人々を

供養する花火大会を行った。ある点で、花火も歌舞伎やお能、からくり人形などと同じように日本独特の文化として成長したといえよう。

人類は火を利用することで生物の王となり、人間同士の戦いでは槍や刀で殺し合いを続けた。この切り札が鉄砲、そしてもっとも威力があるのが核兵器であるが、人類は今、地球そのものを壊滅できる核を所有、そのバランスで世界の平和が成り立っているという情けない状況に追い込まれている。原爆の被爆地、広島、長崎でも花火大会で心を癒しているが、核兵器、そして原子力発電所の火は、いったい誰がどのように始末するのだろう。



環境美化の日一斉清掃

5月26日(日)、春の「環境美化の日」一斉清掃活動が実施されました。今回は天気に恵まれ、環境推進員をはじめ、自治会や多くの市民の方々にご協力を頂き、参加人数は過去最高の27,368人（内子ども3,693人）になりました。ごみの回収量は41,44トンでした。



歩きたばこ等防止啓発キャンペーン

7月2日(火)、午後6時から市内8駅の14出口で歩きたばこ等の防止啓発キャンペーンを実施しました。キャンペーンには各地区の環境推進員281名が参加し、約1時間喫煙マナーの向上を呼びかけました。今回は（埼玉県西部地域まちづくり協議会）の構成団体である飯能市・狭山市・入間市との共同キャンペーンとなり、4市がそれぞれの駅頭で歩きたばこ等の防止を呼びかけました。



ライトダウン所沢 in 航空公園

所沢市では、6月21日(金)から7月7日(日)の間、ライトアップ施設や家庭の電気の消灯を呼びかける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」期間を設けました。

このキャンペーンの最終日、七夕の夜には「ライトダウン所沢in航空公園」を開催しました。当日は約250人の参加者等が集まり、公園内に1300個のキャンドルを並べ、市長による園内照明の消灯カウントダウンや、市内同好会のオカリナ演奏などが行われました。



環境展示会が開催されました

環境グリーン部では6月の「環境月間」に合わせ、市民、事業者の方々に環境問題への関心を深めていただくため、環境展示会を毎年開催しています。今年も6月17日(月)から6月21日(金)まで市役所1階市民ホールで開催しました。



今年度は、「楽しく快適なエコライフの提案」「みどりのカーテン」「微小粒子状物質(PM2.5)について」の展示や、緑の募金にご協力い

ただいた方への苗木の配布の他、自転車発電機を設置し、来場者の方に発電を体験していただく催しなども行い、1872人の来場者がありました。



編集後記

みんなで、きれいと、地域の独自な地区活動報告。推進員の地域環境美化活動は、地域の“絆”をも造っていく大きな“動き”ですね。(m)

編集長：荻野義雄（三ヶ島）

委員：魚島克巴（新所沢東）久下紀世（新所沢）
新居亨一（山口）

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

環境推進員連絡協議会を検索してアクセスしてください。